

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

### 佐賀市立東与賀小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

#### ■ 調査期日

令和5年4月18日（火）

#### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

#### ■ 調査の内容

##### (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

##### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

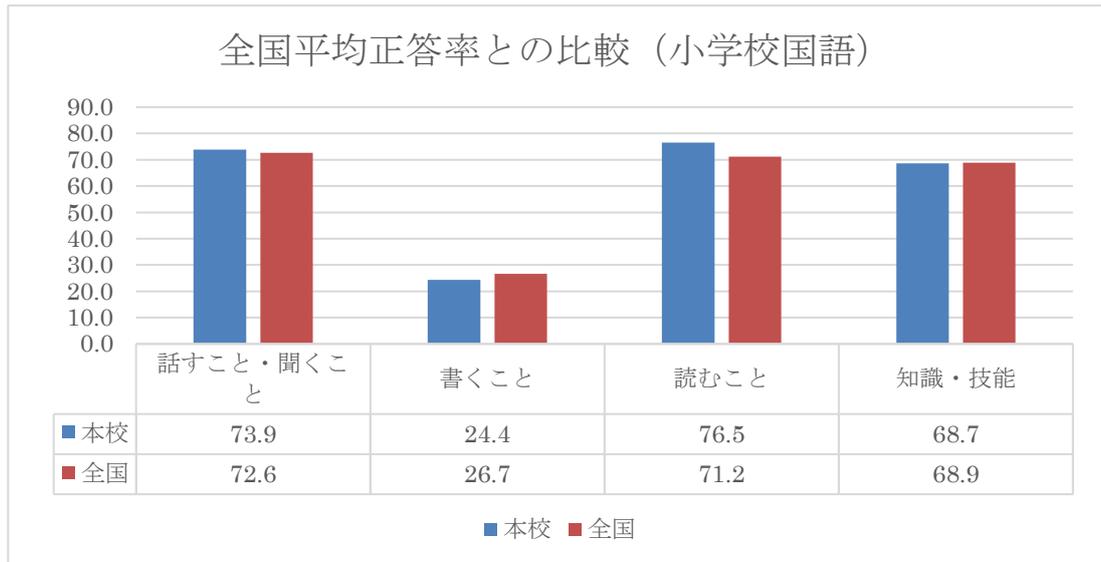
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

#### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語(中学校)に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。「話すこと・聞くこと」「読むこと」は、全国平均正答率を上回っています。また、無解答率をみると、全問題で全国平均よりも低くなっています。

#### (2) 成果と課題

今回の調査で、「読むこと」が 5.3 ポイント上回りました。国語科に限らず、文章や問題を読み解く根幹をなす言葉の力であり、普段からの音読や読書の成果が表れていると考えられます。課題は、問題形式の「記述式」の正答率を上げることです。正答率 56.8%は、全国平均正答率 51.0%を上回っているものの、苦手手にしている児童が多くいます。児童の記述力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の力を伸ばすことにつながります。単なる「知識」を問う問題ではなく、「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

#### (3) 学力向上のための取り組み

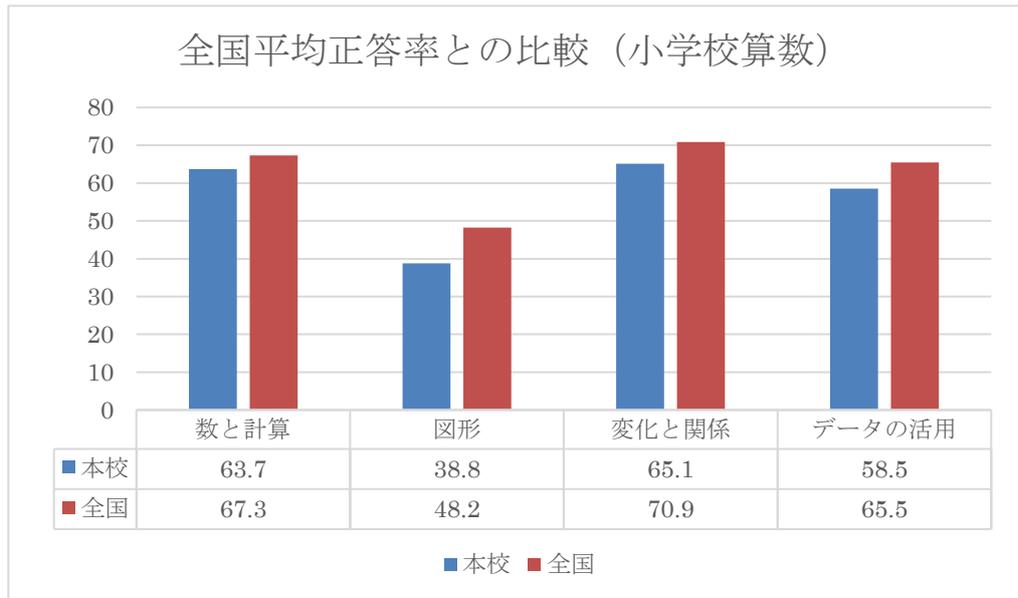
##### 【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子供同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながらかく機会を増やします。
- 漢字の読み書き、ことわざ等の学習に一層力を入れるとともに、辞書を活用させ、語彙力を増やします。
- 習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます。

##### 【ご家庭では】

- 音読を大切にしていましょ。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしていましょ。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな本を読み、いろいろな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。市立図書館や本屋に定期的に行くことも、子供の読書習慣をつける上でおすすめです。時には、親子一緒に読書することも読書習慣をつける一助になります。

## 2 算数(数学)



### (1) 結果

全ての領域で全国平均を下回っています。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

### (2) 成果と課題

今回の調査では、「C 変化と関係」の領域の問題で正答率が全国平均を上回っていました。

しかしながら、「B 図形」の領域の台形の定義について、「向かい合っている1組の辺が平行である」ことを理解できているかどうかをみる問題の正答率が、全国平均を大きく下回っていました。

今後、図形の観察や操作活動などを通して、図形の定義や性質を理解することができるようにすることが重要であると捉えています。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 「図形」については、操作活動を伴った経験の積み重ねが確かな概念を形成するので、操作活動を単元の中に意図的に取り入れます。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。児童一人ひとりに「発表」と「傾聴」の言語活動の時間を保障することで、思考力・判断力・表現力を育てます。
- 新出の知識・技能については、その1時間内に練習問題を「自力解決」させることで、定着したかどうかを確認します。

#### 【ご家庭では】

- お子さんの普段のノートやプリント・ドリル等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 算数が好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	75.6%	83.7%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	35.9%	38.1%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	56.4%	55.1%
自分にはよいところがあると思いますか。	42.3%	42.6%
将来の夢や目標を持っていますか。	62.8%	60.8%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	82.1%	75.3%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	84.6%	82.6%

朝食・起床・就寝については全国平均を下回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。

人の役に立ちたい気持ちや規範意識の項目については、肯定的な回答をした児童は全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	17.9%	28.7%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	9.0%	11.8%
「2時間以上、3時間より少ない」	19.2%	13.8%
「1時間以上、2時間より少ない」	23.1%	31.5%
「30分以上、1時間より少ない」	34.6%	26.9%
「30分より少ない」	10.3%	11.4%
「全くしない」	3.8%	4.6%

家庭学習については家庭学習時間は全国平均より少ないようです。また1時間未満の児童が半数近くおり、中には全く家庭学習をしていない児童もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。ご家庭でも家庭学習の習慣化に向けて声掛けをお願いします。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習(自学)については2年生以上で取り組み、お手本になる自学ノートを掲示して定着しつつあります。1年生も3学期より始めたいと思います。
- スキルタイム(8:15~8:35)で朝の読書に取り組んだり、全校で目標冊数を設定したりするなど、読書の機会を増やすための工夫をしています。効果が現れてきているので、これからも継続していきます。

##### 【ご家庭では】

- 上記の項目は、改善を図ろうと「家学家読週間」でも取り上げている項目です。「家学家読週間」だけでなく、規則正しい生活と家庭学習の定着することは、極めて大切なことです。お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときを逃さず、褒めることで意識が更に高まります。
- 佐賀県より配布された「家庭学習の手引き」をご覧ください。「わが家の家庭学習の習慣化」を設定し、自分で決めて学習できるように励ましてください。